

行事報告書(例会)

報告者:飯盛秀穂

行事名	平成28年度11月例会「尼崎キャナルウォーク」
実施日時	平成28年11月24日(木) 10時～15時 天候:晴れ
行先・場所	尼崎市臨港地区
主旨・行程	<p>現在人口46.4万人の尼崎市、かつては公害都市として名をはせたが、産業構造の変革に伴い、豊かな水と緑で環境にやさしいまちづくりを目指している。今回はその一端を、公害を発生続けた重化学工場が沢山あった尼崎臨海地帯を訪れ、尼崎キャナルガイドの会の案内で運河周辺を散策、歴史や環境問題など多くを学んだ。</p> <p>澱んだイメージがあった運河の水は透明度も高く、工場敷地の25%は緑化が求められ、10年を経過した尼崎の森中央公園は樹木がしっかりと根付いている・・・再生尼崎を実感。</p>
参加人員	MNC 32名 担当:詠田、飯盛
経過・状況	<p>東京都心では初雪が降り、数センチの積雪があったこの日、発達した寒気団が南下して関西にも・・・との予報であったが、朝は寒かったものの歩き出すと丁度良い天気の中を散策。</p> <p>10:00、阪神電車・尼崎センタープール前駅下の南側ロータリーに32名が集合。尼崎キャナルガイドの会会長:佐伯義信さんから今回案内頂くガイドの皆さんの紹介後出発。出てすぐ阪神電車高架下に野菜工場があり紹介があった(衛生上部外者の見学は不可)。続いて道意神社、ここは過去の水害から盛土をして建立された由。国道43号線を渡り元浜緑地に。ここは以前製鋼会社の工場があった所で子供の遊び場や園芸相談室などを備えた市民の憩いの場となっている。公園を一周して運河のある「出会い橋」に。ここは北堀運河と中堀運河が交わる所で、ガスタンクを模して造られたモニュメント。ここから南に下るが、木で舗装された散策路で自転車は通るもののゆったりと歩ける。中堀運河から南堀運河の南側を通り「尼ロック」に向かう。ここはパナマ運河と同じ構造で、最大500トンの船が航行可能な日本一の閘門。見学中に運河から外洋に出る大きな貨物船があり、ロックに入り、海面水域まで注水、そして青信号で出るまでジックリと見学した。このためここで当初の予定を約30分遅れて尼崎の森中央公園に向う。公園内の陽だまりで昼食(13:00～13:30)。</p> <p>13:30からこの公園を管理する杉本所長より「21世紀の森」についてそのコンセプトの解説を受ける。その後外に出て、生物多様性を考えて猪名川や武庫川流域等から集めたドングリ発育の為に温室や、圃ばを見学、さらにプロジェクトがスタートして10年がたつ「はじまりの森」の案内を受ける。コナラやクヌギ・アベマキ等ぎっしりと育っており、さらに10年先・30年先・・・を考えると夢が広がる・・・そんな見学が出来た。</p>
まとめ・感想	<ul style="list-style-type: none"> ・今回キャナルガイドの皆さんに案内頂き、尼崎は過去の公害から脱し環境にやさしいまちに生まれ変わりつつあることを実感した。 ・「尼ロック」では大型の貨物船が通過する状況を数メートルの近くから見学、中々の迫力。 ・中央公園に向う途中、かつてパナソニックが大画面薄型テレビとして社運を賭けたというプラズマテレビを生産した広大な3工場の横を通る。ここは2005年から2013年まで生産を行ったが、海外の安価攻勢に対応できず撤退を余儀なくされた。現在売却交渉中や物流施設に改装中で、時代の流れの変化を感じた。 ・今回お世話になった尼崎キャナルガイドの会、会長の佐伯さん始めガイドの皆さん、尼崎市役所 公園計画・21世紀の森担当青木さんに感謝申し上げます。

写真添付



盛土の上に建つ道意神社



元製鋼会社跡の元浜公園



紅葉進む元浜公園で解説を聞く



ガスタンクを模した出会い橋



ロックに入る貨物船



青信号でロックを出る



管理事務所で杉本所長の話



「はじまりの森」前で



「はじまりの森」の林内



「21世紀の森」の前で

<写真：青山 征二、飯盛 秀穂>